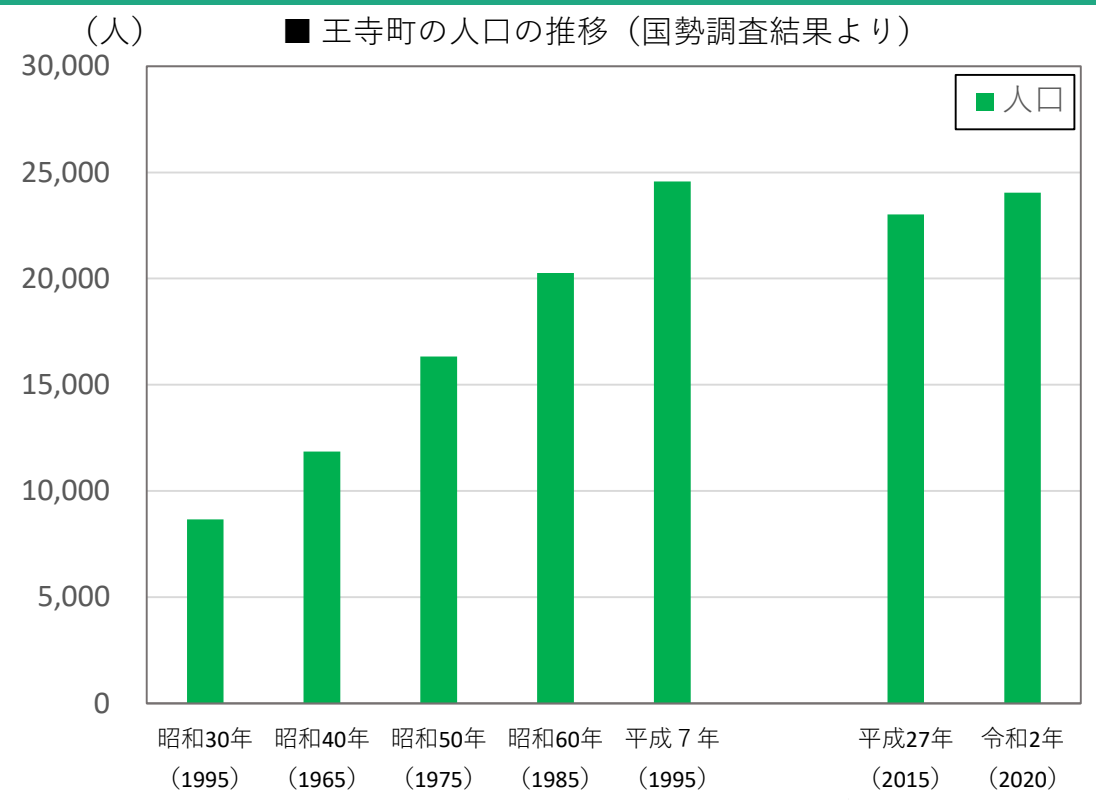
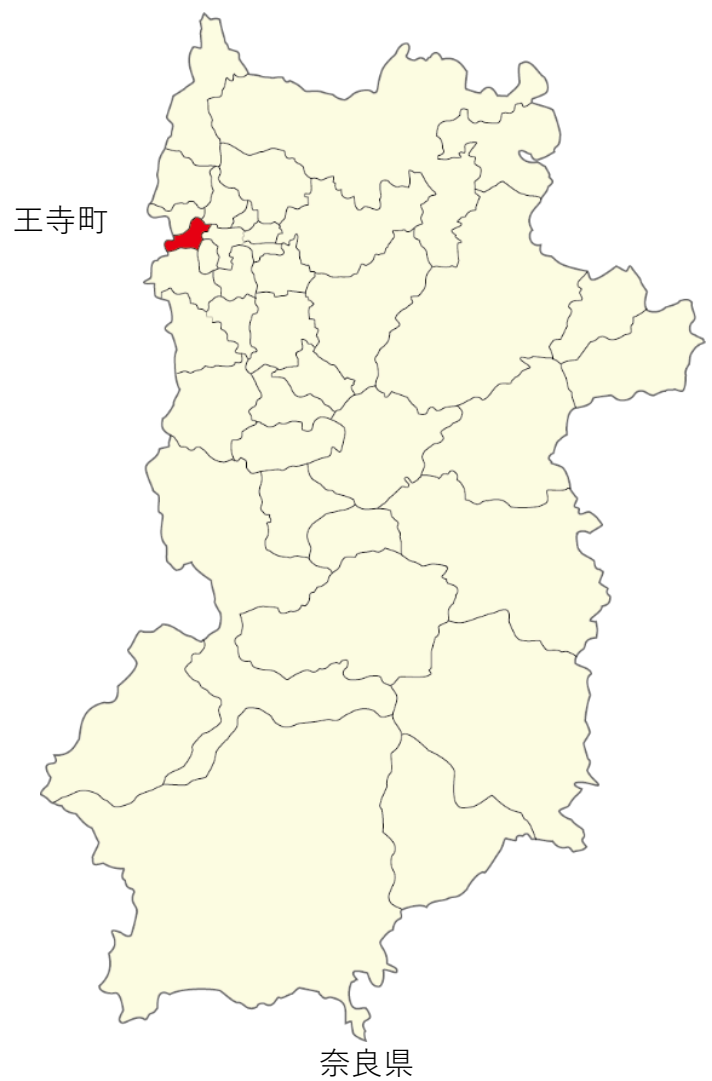


スーパー・メガリージョンと 王寺のまちづくりデザイン

関西のインフラ強化を進める会
第19回委員会

王寺町の概要

王寺町 面積：7.01平方キロメートル



昭和30年	(1995)	8,662 人	
昭和40年	(1965)	11,849 人	
昭和50年	(1975)	16,331 人	
昭和60年	(1985)	20,265 人	
平成7年	(1995)	24,574 人	
平成27年	(2015)	23,025 人	(3.8%増)
令和2年	(2020)	24,043 人	(4.4%増)

王寺町の紹介

- 民間企業が毎年実施している『街の住みこち自治体ランキング全国版・2020』では**全国第1位**を獲得
- 聖徳太子ゆかりの達磨寺には、日本書紀の飢人伝説や太子の愛犬「雪丸」の墓（雪丸塚）がある
- 大和川や葛下川といった水辺空間と、山頂から5つの世界遺産が眺望できる明神山がある
- 義務教育学校を2校開校し、9年一貫教育を実施

奈良県
北葛城郡
王寺町



OJI-CHO | おうじちょう | MAP

偏差値

73.4

ポイント
<1.05P>

奈良県の北西部に位置し、大阪市や奈良市へのアクセスに便利なベッドタウンで、大阪の天王寺駅まで電車で約20分程度と交通利便性がよい街です。また、駅前には商業施設が揃っており



住みこちランキングHPより引用

葛下川のイルミネーション



明神山・悠久の鐘



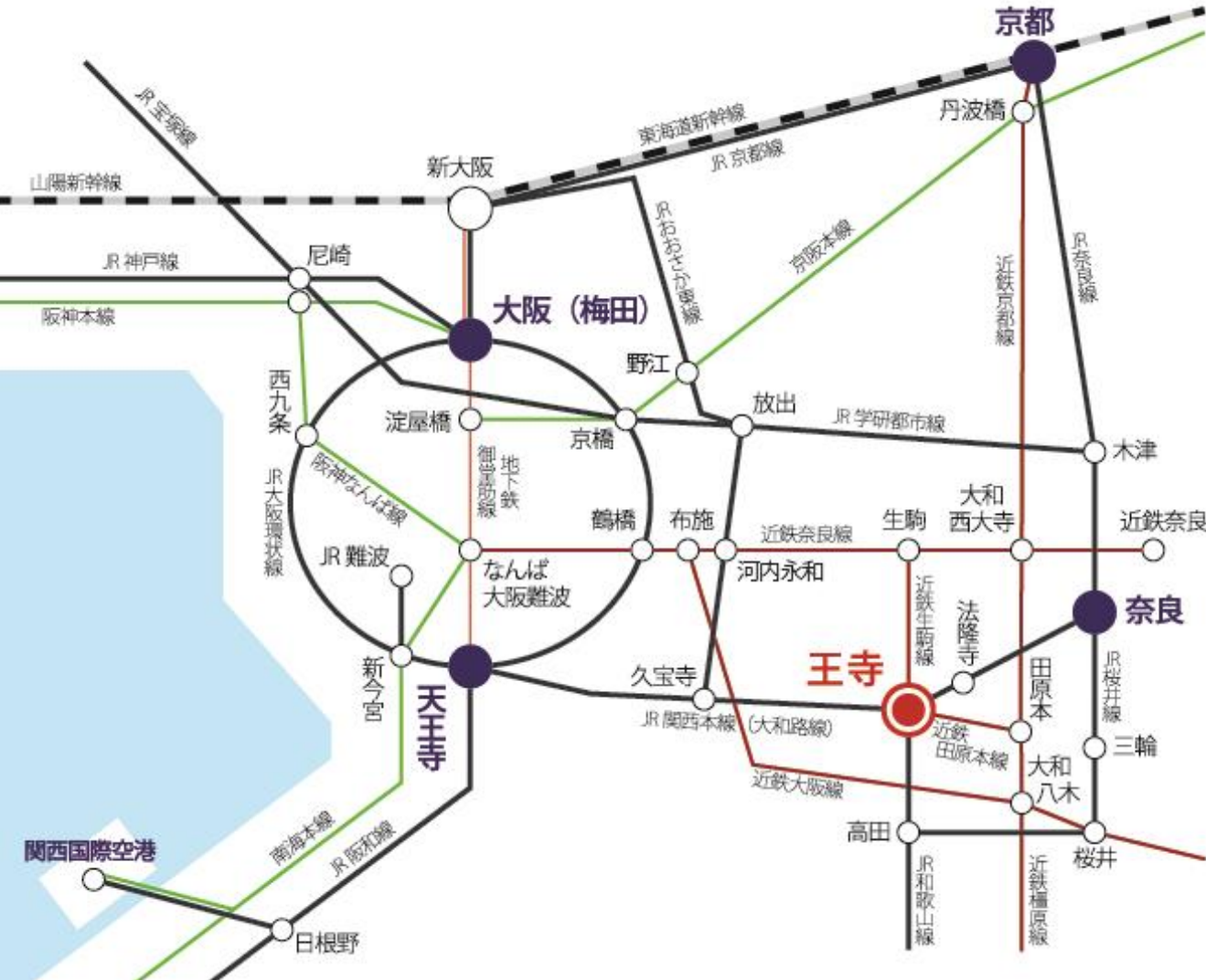
住みこちランキングHPより引用

王寺北義務教育学校



王寺町の交通

- 交通の利便性から大阪のベッドタウンとして発展
- 王寺駅の1日乗降客数：66,000人（奈良県で一番乗降客の多い駅）



王寺駅までの所要時間

【JR大和路線】

大阪から 35分
天王寺から 20分
奈良から 15分

【JRおおさか東線】

新大阪から 40分
(直通快速)

【JR阪和線 + JR大和路線】

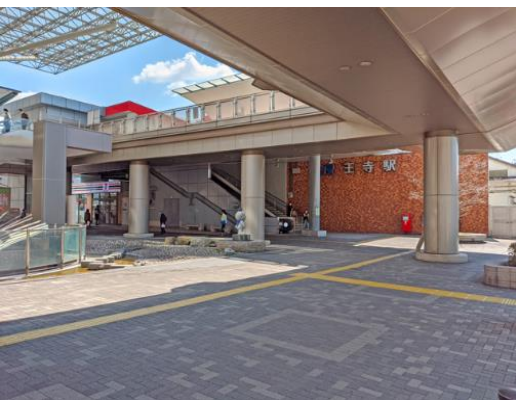
関空から 60分
(特急利用)

「鉄道のまち」王寺

- 明治23年（1890年）12月27日、奈良県初となる大阪鉄道会社の王寺－奈良間が開通し**王寺駅が開業**
- 明治24年3月1日、王寺－高田間（和歌山線）が開通
- 大正7年4月26日、大和鉄道の新王寺－田原本間（近鉄田原本線）が開通
- 大正11年5月16日、信貴生駒電気鉄道の王寺－信貴山間（近鉄生駒線）が開通→王寺駅が**ターミナル化**
- 大正15年2月11日、王寺村に**町制が施行**されて王寺町が誕生



昭和37年(1962)撮影。北側にあった駅舎
昭和53年(1978)撤去



平成30年(2018)撮影
建替えにより橋上化された駅舎（北側）
平成になり、一日の乗降客は10万人超
（R2乗降客数：66千人/日・県内1位）



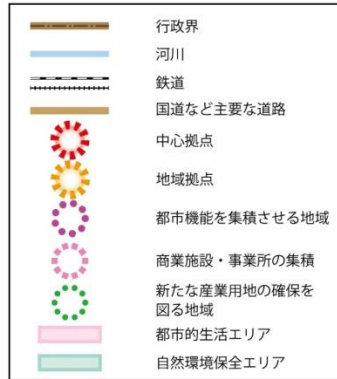
王寺駅を発車して奈良方面
に向かう機関車
昭和45年(1970)撮影。柳生号と
して運転されたD51形蒸気機関
車452号機が写っている。
国鉄港町・奈良間は、昭和48年
に電化された。天白逸郎氏撮

王寺町のまちづくりについて

【王寺町都市計画マスタープラン】（H30.3月）

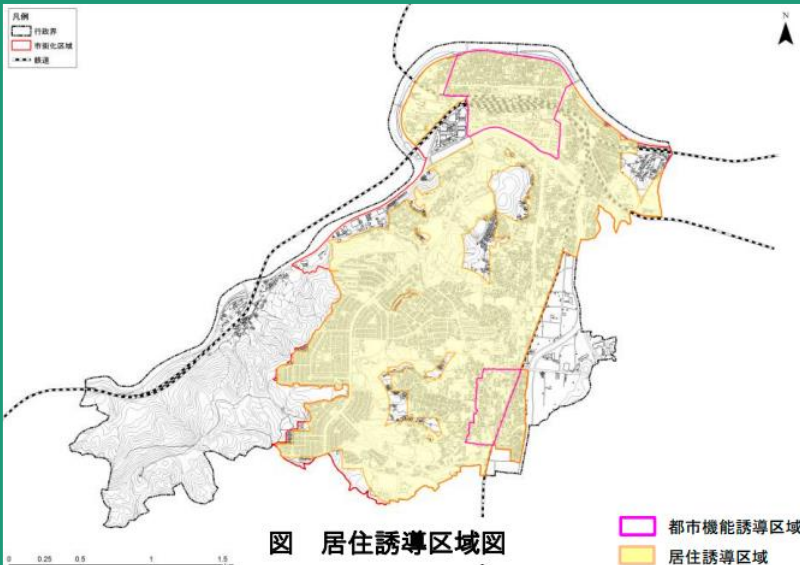
王寺駅周辺地区を「中心拠点」として位置づけ

王寺駅周辺地区を「中心拠点」として位置づけ、医療・福祉・子育て、商業、事業所（オフィス）、宿泊、居住、金融、文化、行政サービス機能などの多様な高次都市機能を集積し、西和地域の拠点となる都市としての「求心力」を高めます。（王寺町都市計画マスタープラン）



【王寺町立地適正化計画】（H30.3月）

王寺駅周辺を都市機能誘導区域と設定



土地利用の基本方針図

王寺駅周辺の課題（駅北エリア）

—王寺駅周辺地区まちづくり基本構想（H30.5月）—

安全・安心

- 道路が狭隘なため、消防活動困難区域が存在し、また、低層住宅の建て替えが進まず、老朽化が進行している。
- 高齢化率の増大に伴い、避難行動要支援者の増加が懸念される。洪水や地震など災害への備えが必要である。
- 中央公民館は老朽化が進行しており、公共施設管理計画において、建替えを実施することとしている。
- 既存の建築制限が有効活用されていない。
- 災害時の一時的な避難場となりえる公園やオープンスペースも少ない。

暮らし・活力

- 王寺駅の利用者は多いが、地区内へ誘導する魅力が十分でない。
- 低層住宅の中には空き家・空き店舗が多く、にぎわいの創出に向けて活用を推進する必要がある。

交通利便性

- 国道25号の慢性的な交通渋滞の解消が必要である。
- 広域観光の拠点として、駅周辺の適切な案内誘導の強化が必要である。

地域資源

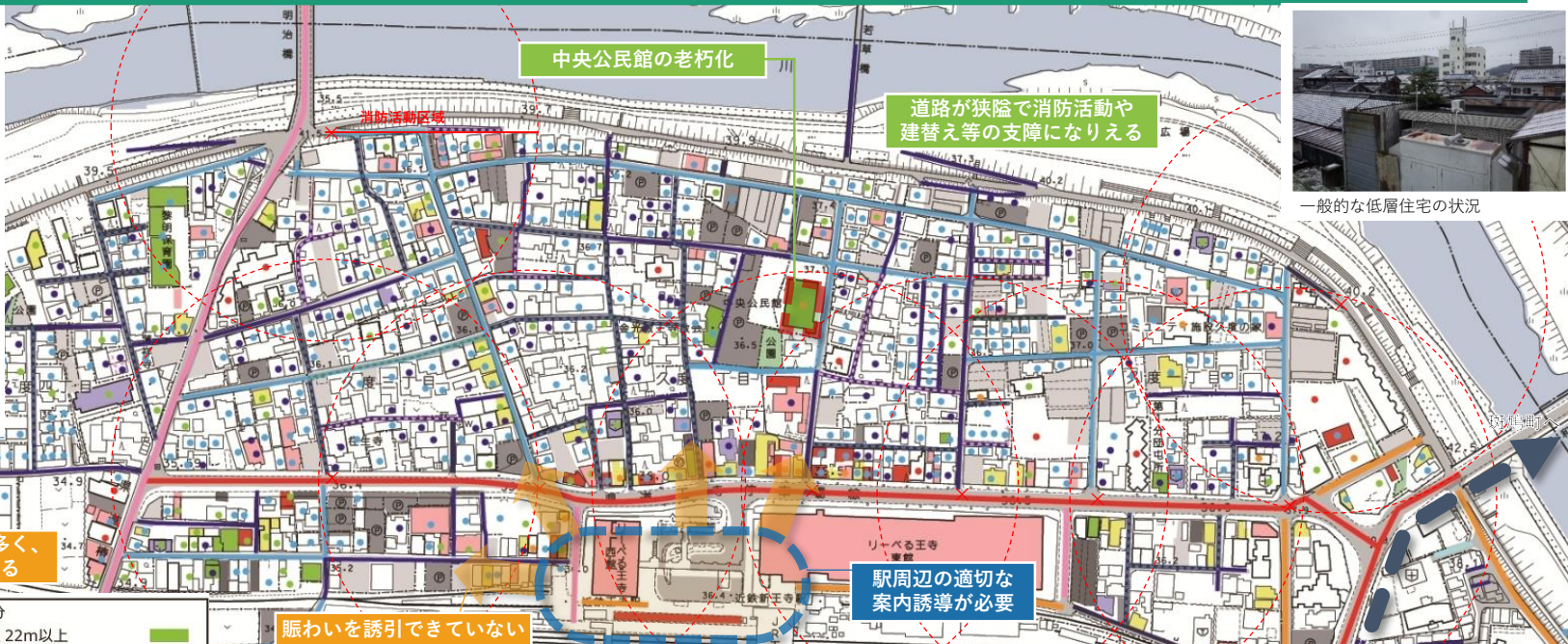
- 地域資源の魅力化が必要である。



空き店舗（王寺デパート）の状況



北口駅前広場の状況



一般的な低層住宅の状況

空き家・空き店舗が多く、活用推進が望まれる

■区分	
幅員 22m以上	緑色
幅員 16m以上 22m未満	茶色
幅員 12m以上 16m未満	赤色
幅員 8m以上 12m未満	黄色
幅員 6m以上 8m未満	青色
幅員 4m以上 6m未満	紫色
4m未満	灰色
二項道路	点線
非道路	破線

賑わいを誘引できていない

■建物用途	
飲食	公共公益
物販	複合ビル
サービス	駐車場
医療・福祉施設	

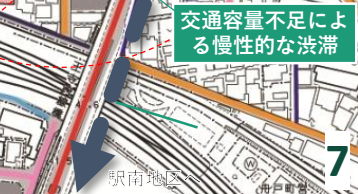
■凡例	
1階建て	●
2階建て	●
3階建て	●
4階建て	●
5階以上	●



中央公民館



中央公民館南の公園



交通容量不足による慢性的な渋滞

（図面出典：王寺町地形図を加工）

王寺駅周辺の課題（駅南エリア）

—王寺駅周辺地区まちづくり基本構想（H30.5月）—

安全・安心

- ・高齢化率の増大に伴い、避難行動要支援者の増加が懸念されるとともに、洪水や地震など災害への備えが必要である。
- ・いざという時に利用しやすい医療機能が必要である。

暮らし・活力

- ・にぎわいを高めるため、新たな目的地となる商業施設や宿泊施設等の機能を誘導することが必要である。
- ・駅に隣接する電車留置線等敷地を有効利用するためには、機能移転が必要である。
- ・利用価値の高い駅近接地に青空駐車場など低未利用地が残っており、有効利用されていない。

交通利便性

- ・南口駅前広場は、交通空間中心となっており、歩行者の待機場所を含む環境空間が不足している。
- ・国道25号の慢性的な交通渋滞の解消が必要である。

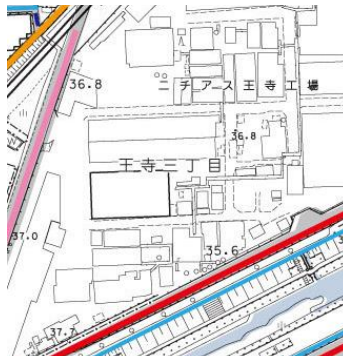
地域資源

- ・達磨寺方丈は修復が必要であり、地域資源の魅力化と地区内の地域資源のネットワーク化が必要である。
- ・国道168号は町のシンボルロードであり整備が進められているが、電柱が景観阻害要因となっている。

0 100m

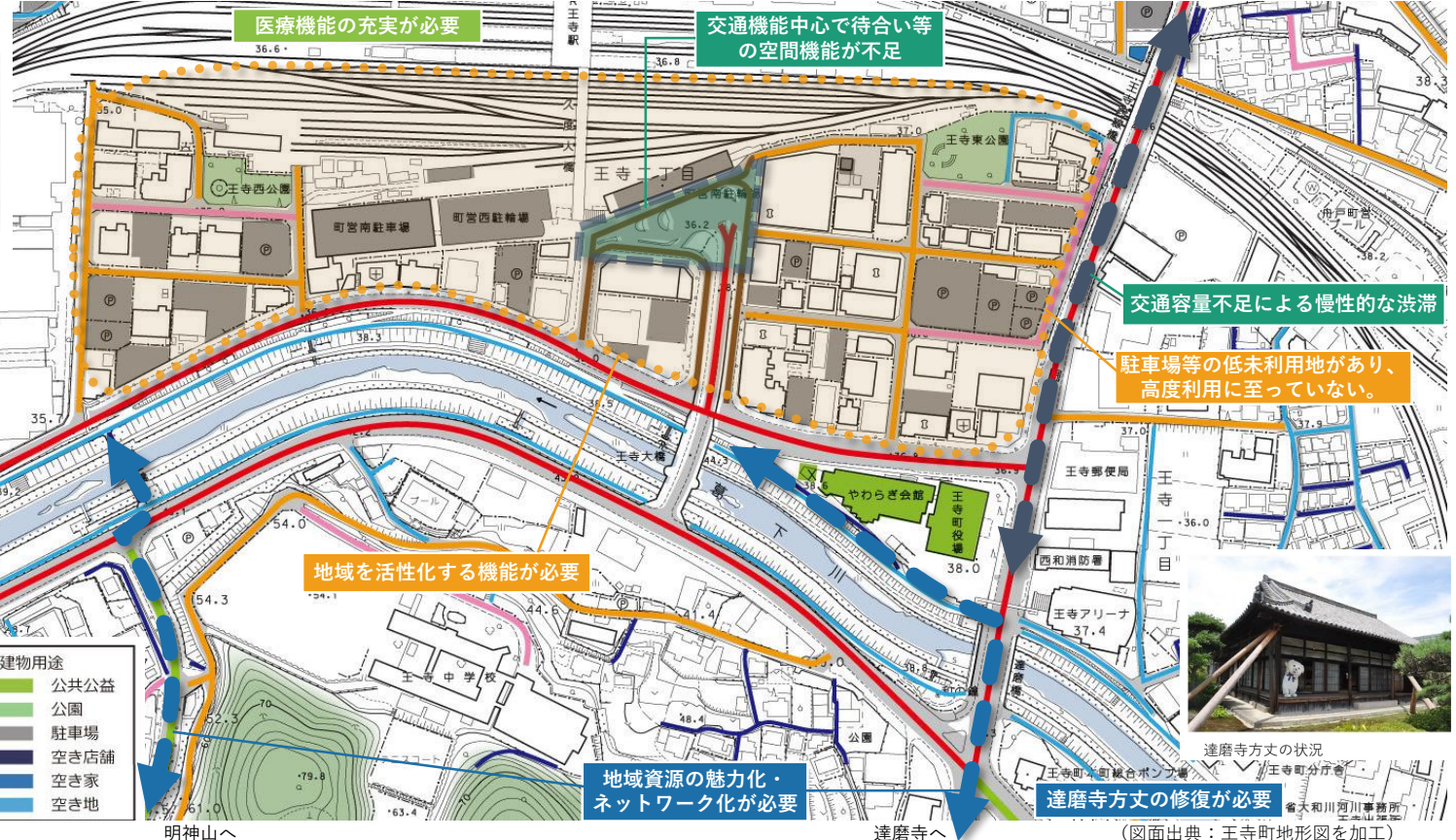


南口駅前広場の状況



■区分	
幅員 22m以上	緑色
幅員 16m以上 22m未満	赤色
幅員 12m以上 16m未満	茶色
幅員 8m以上 12m未満	黄色
幅員 6m以上 8m未満	青色
幅員 4m以上 6m未満	水色
4m未満	紺色

■建物用途	
公共公益	緑色
公園	茶色
駐車場	灰色
空き店舗	黒色
空き家	青色
空き地	水色



達磨寺方丈の状況

(図面出典：王寺町地形図を加工)

基本計画（駅北エリア）

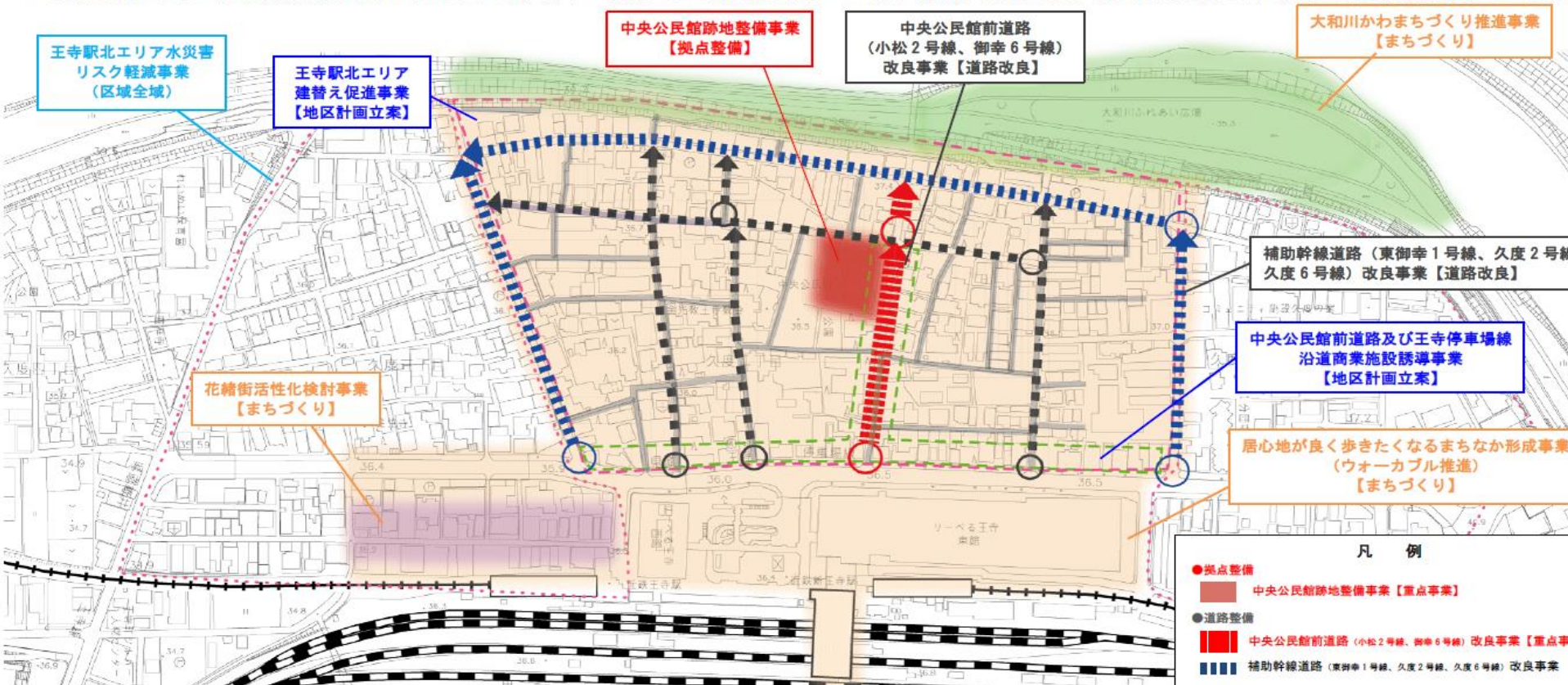
—王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画（R4.6月）—

駅北エリアは『防災機能を強化し、魅力の向上を目指す』ことを目標に掲げ、事業内容をまとめた「まちづくり基本計画」を策定し、以下の3つの取り組み方針を決定し、事業を実施していく。

1. 道路整備や土地利用の誘導による防災機能の強化
2. 中央公民館跡地の活用等によるにぎわいの創出
3. 官民連携によるまちづくりの推進

基本計画図

王寺駅周辺地区のまちづくり基本計画図は、以下に示すとおりです。なお、王寺駅北エリア建替え促進事業については、将来的に本計画の対象区域まで事業を拡大し、区域全体の狭隘道路解消を図っていきます。



リニアについて

- 国においては、リニア中央新幹線の開通によって、東京－大阪間の時間距離が大幅に短縮され、国内各地間の移動時間が短くなり、三大都市圏の成長力が全国に波及するとされている。
- 中間駅には「奈良市附近駅」が奈良県内に設置されることが決定している。
- 王寺駅から品川駅までの所要時間は約75～85分。

国交省HPより引用



※1 中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画(その1)(H26.10.17認可)による

※2 中央新幹線(東京都・大阪市間)調査報告書(H21.12.24)による

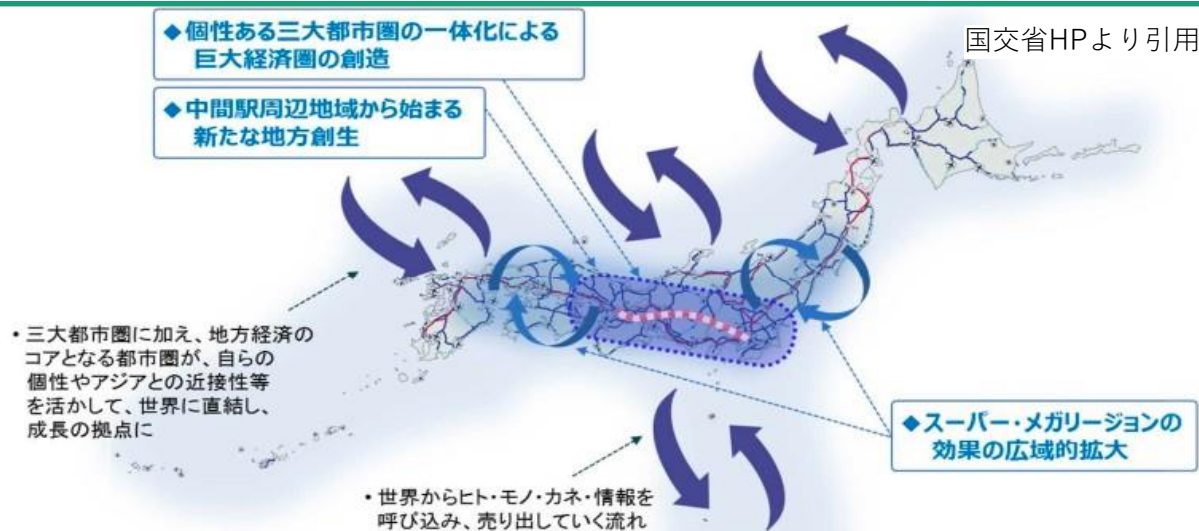
※3 財政投融资の活用による

(注) なおJR東海においては、品川-名古屋間の事業費が増加(約1.5兆円)する見込みであると発表(R3.4.27)

<中央新幹線の整備計画>

スーパーメガリージョンについて

- 関係人口、知識集積
- 奈良県は奈良市付近駅を核とした地域振興、王寺町は王寺駅を中心拠点とした都市機能の集約を目指す



中間駅周辺地域から始まる新たな地方創生

- ◆ 多様な人材が活発に行き交い、クリエイティブな交流が生まれる、新しい知的対流拠点に発展
- ◆ 都市と地方にまたがる新たなビジネススタイル・ライフスタイルを可能とする、新たな居住の選択肢を提供
- ◆ Society5.0の革新的技術と豊かな自然環境が融合した、独自性と先進性の高い地域に発展する可能性

- ✓ 地域の強みを活かした産業を育成し、圏域を越えた産業クラスター同士の連携強化等により、新世代の新たな産業へと発展
- ✓ 自然豊かな居住環境、多様なツーリズム、社会参画のプラットフォーム等の形成により、地域独自のライフスタイルを提供
- ✓ 地域内の主体的取組と地域外の人材の知見を融合すべく、各地域の魅力を大切にす価値観をもつ関係人口を拡大
- ✓ リニアによる東西方向の連携軸に加え、各駅から南北方向に伸びる高速道路との連結性を強化し、対流を活発化

スーパー・メガリージョンの効果の広域的拡大

- ✓ 全国各地の個性を結び付けるため、広域連携により圏域を越えた人的ネットワークを拡大し、リニア駅を核とした広域的な新幹線・高速道路ネットワークの形成により対流を活発化
- ✓ 三大都市圏の空港が相互補完的に機能することや、東京・大阪間の輸送ニーズの転換による新たな航空需要への対応、東海道新幹線沿線地域の利便性向上等の効果も期待
- ✓ リニア沿線以外の中枢・中核都市も、自ら世界に直結しスーパー・メガリージョンとの相乗効果を発揮する持続可能な成長の拠点に

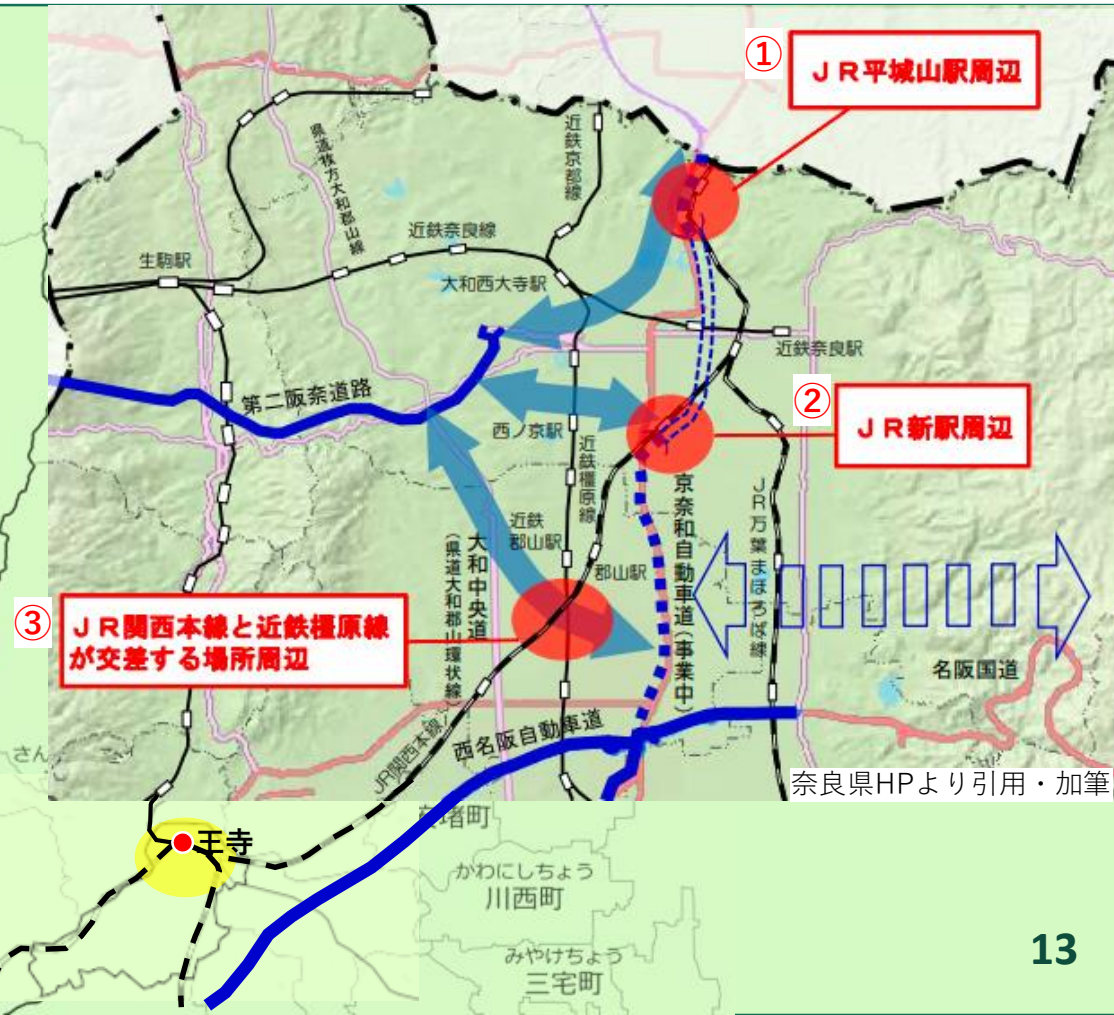
リニア駅奈良県内の候補地について

②リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網の形成

- 在来線や高速道路との結節性を考慮すると、**事実上、下記の3つが「奈良市附近駅」の重点候補。**

- 奈良県内のリニア中間駅候補地は3つ
 - ① JR平城山周辺
 - ② JR新駅周辺
 - ③ JR関西本線と近鉄橿原線が交差する場所周辺
- 王寺町にとっての理想の候補地は③

- 奈良県内にリニア中央新幹線の中間駅ができることで、王寺町はスーパーメガリージョンに組み込まれる。
- 王寺駅周辺地区には、西和地域の中核となる拠点機能を強化することが必須となる。
- 現在、有識者や交通事業者を交えた「王寺駅周辺再整備推進会議」を立ち上げ、議論しているところ。

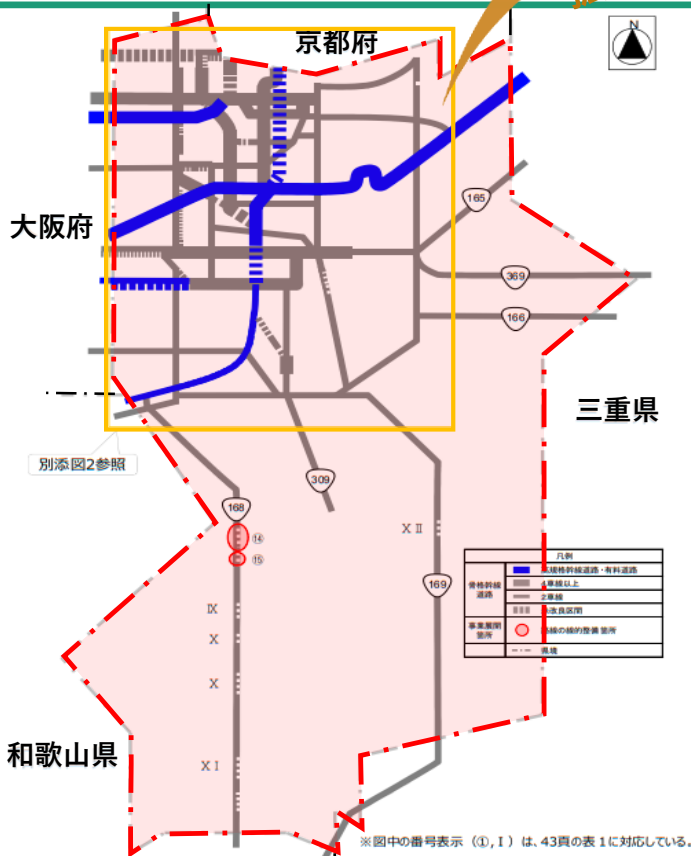


奈良県の道路整備について

奈良県道路整備基本計画（令和元年10月）より引用・加筆

奈良県の『道路整備基本計画』では「骨格幹線道路ネットワークの形成に向け、路線の線的整備及び課題箇所の面的検討を行い、併せて、主要な経過地として「奈良市附近」と決定されているリニア中央新幹線の間駅へのアクセス道路のあり方などの検討を進める」としているが、西和地域の道路整備は進んでいないのが現状である。

拡大図



骨格幹線道路ネットワーク 事業展開箇所（大和平野部）

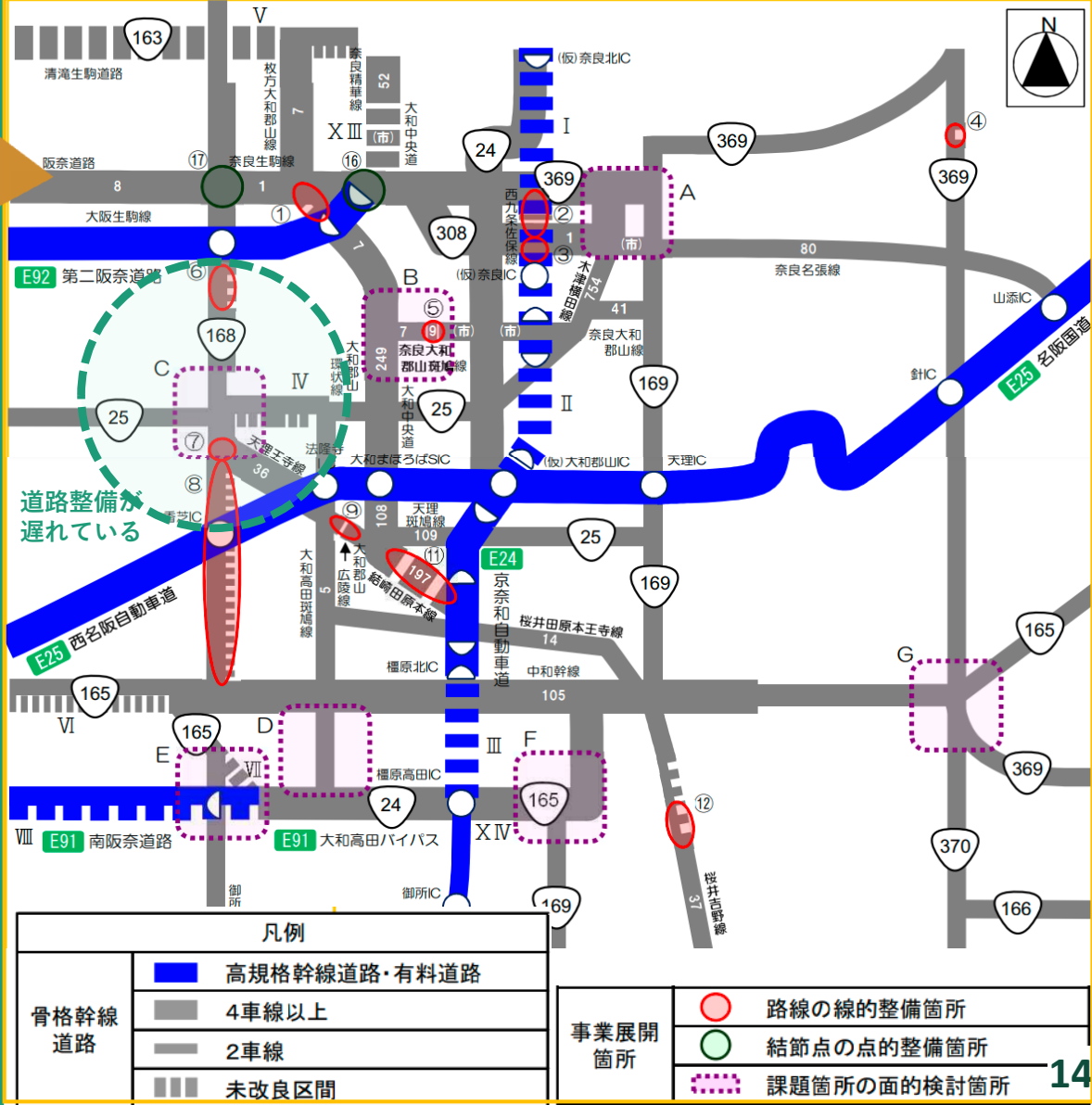


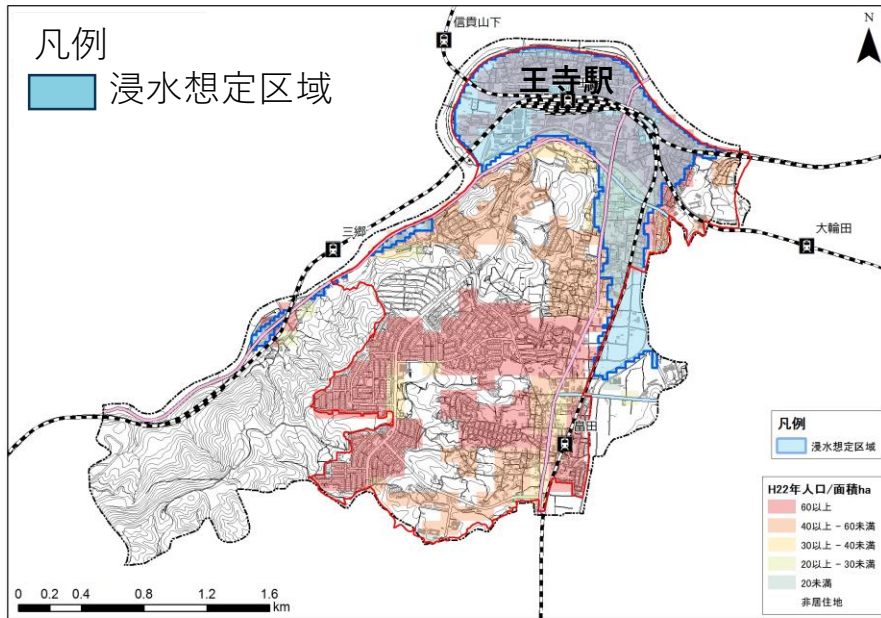
図1: 骨格幹線道路ネットワーク 事業展開箇所（奈良県全域）

国道25号について（課題）

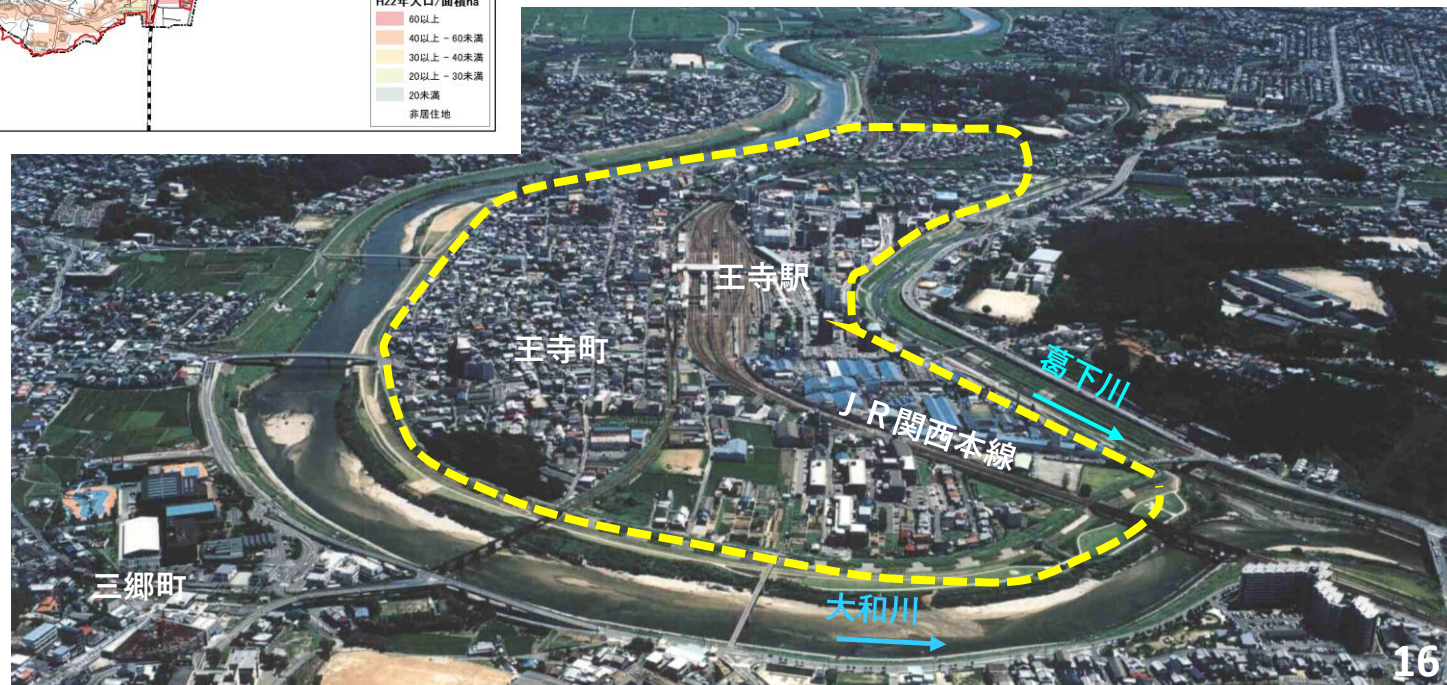
国道25号は、国による「いかるがパークウェイ」のバイパス整備及び、県による「国道168号」の4車線整備が進んでいる一方、国道25号と国道168号が重複する三室交差点～本町1丁目交差点間（約1.2km）が2車線のため、ボトルネックとなっており、渋滞が長年の課題となっている。



王寺町における浸水想定区域



- 王寺駅を中心とした王寺町の中心地は大和川と葛下川に囲まれた場所にあり、浸水想定区域となっている。
- 中心地の最大浸水深は3.0～5.0m未満
(王寺町ハザードマップ)



昭和57年水害について

- 昭和57年、台風第10号が8月1日に紀伊半島南海上を北上、2日0時頃渥美半島に上陸、近畿地方から東北地方にかけて大雨・暴風が吹き、全国での死者・行方不明者は95名。
- 大和川水系では、この台風第10号とそれに続いて接近した低気圧に伴う豪雨により、7月31日から8月3日にかけて各所で河川が氾濫する大水害が発生。
- 王寺町では大和川の増水により、支流の葛下川が逆流・氾濫し、王寺駅周辺など市街地のほとんどが浸水し、災害救助法が適用される甚大な被害となった。

【被害状況】

全壊家屋	66戸	半壊家屋	174戸	床上浸水	1445戸
床下浸水	272戸				



S57.8出水の
王寺駅前の浸水状況



S57.8出水の
王寺町役場周辺の浸水状況



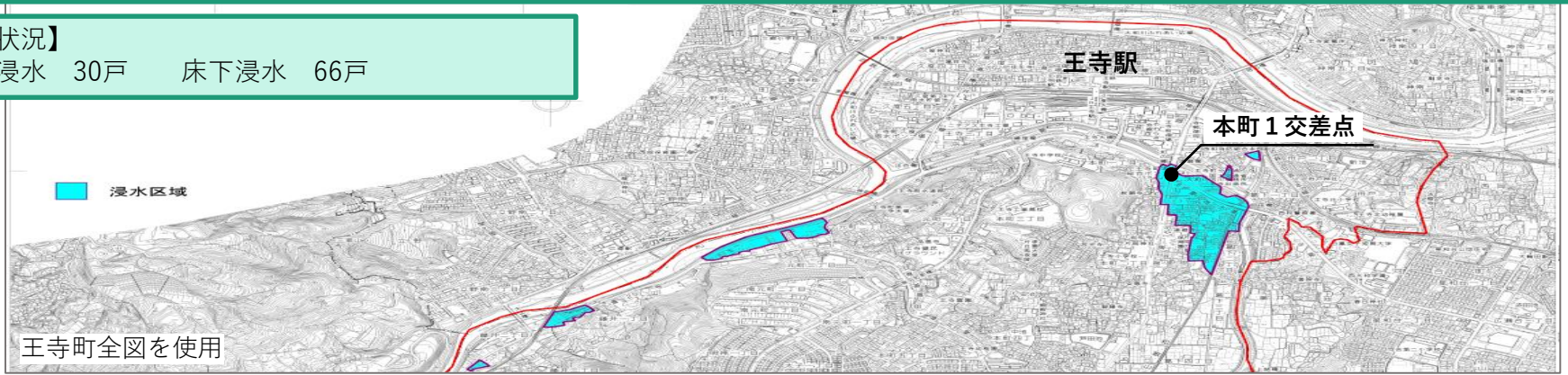
S57.8出水の
王寺駅北周辺の浸水状況

平成29年水害について

- 平成29年10月22日～23日の台風21号に伴う長雨と豪雨により大和川・葛下川で溢水が発生し、本町1・2丁目、葛下2丁目、王寺1丁目、元町2丁目、藤井1・2丁目と広範囲にわたり浸水被害を受けた。
- 王寺水位観測所では、S57年水害を上回る過去最高水位8.14メートルを記録。

【被害状況】

床上浸水 30戸 床下浸水 66戸



本町1丁目交差点の状況



本町1丁目交差点の状況



大和川における治水対策

大和川河川事務所による約25万m³の河道掘削を実施中

- 河道掘削範囲（整備済）
- - - 河道掘削範囲（整備未）
- ↔ 築堤区間（整備済）
- ↔ 築堤区間（整備未）

大阪府域

亀の瀬

王寺町

大和川

三郷町



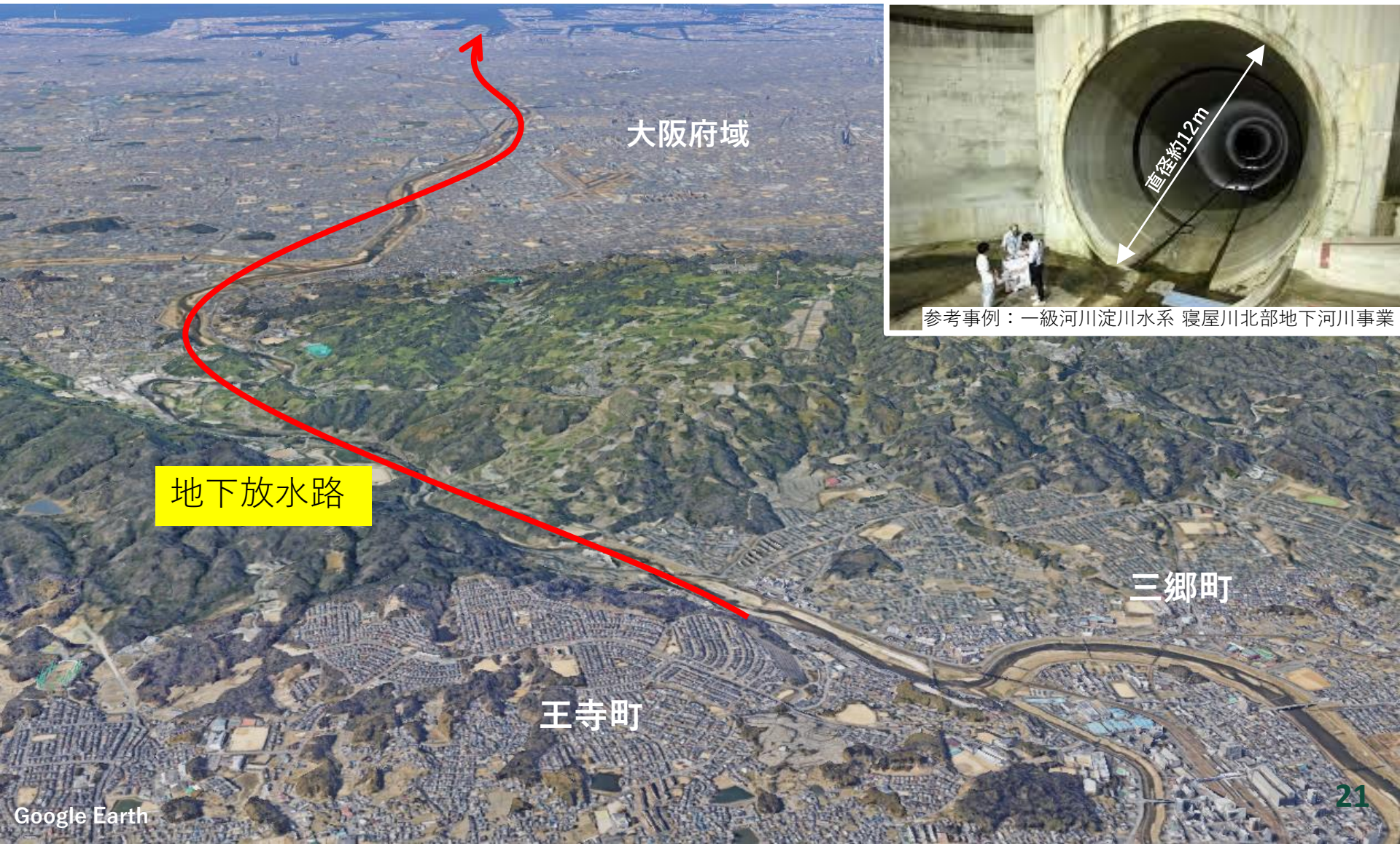
葛下川における治水対策

- 葛下川の遊歩道に「植栽ます・ベンチ」を設置することで、50cmの嵩上げ効果
- 土嚢に代えて植栽を施すことで、河川空間の景観向上効果



さらなる治水対策

- 気候変動による異常気象に備えたさらなる対策の必要性



王寺駅周辺での観光資源



明神山『5つの世界遺産が同時に見渡せる場所』

王寺町の観光資源と観光行政 (明神山)

■ 明神山 (標高273.6m)



四方を山に囲まれた奈良盆地から
大和川が流れ出る大和の玄関口
大和川をつうじて海とつながる

■ 明神山自然の森



水神社



恋人の聖地「悠久の鐘 誓いのテラス SORANI」

観光資源を活用した新たな事業

古来の舟運を再現。空飛ぶタクシーで大和川をさかのぼり明神山へ



- 古来より大和川は舟運にも活用されていました。
- 日本書紀には遣隋使一行が難波津から舟で大和川をさかのぼり飛鳥の宮に至ったと記述されています。

推古21年設置の大道